

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)		-	-
		商店街（代表者）	・衆議院選挙の結果から、安定した経済政策が期待できると 思う。年末年始は商店街内のさまざまなイベントが予定され ており、客数も多くなると思う。
		商店街（事務局長）	・政局の安定と株高効果により、徐々に景気は上向くと思わ れる。
		百貨店（販売促進担 当）	・百貨店業界は増収傾向にあり、インバウンド効果の薄い地 方でも、前年と比べると良くなっていると感じる。
		百貨店（販売促進担 当）	・ボーナスの時期になるため。
		スーパー（財務担当）	・競合先の新店舗オープン等があり、単価の上昇を図るも、 客数の前年割れは続く予想する。
		衣料品専門店（経営 者）	・来月から寒くなっていくので、アウター商品が購買される と客単価も上昇するので、良くなると思う。
		衣料品専門店（経営 者）	・今後更に気温が低下していくので、冬物が売れ出し、良くな っていくと思う。
		衣料品専門店（総務担 当）	・気温が冷え込んでくると高単価の商品が売れ出すため、売 上の増加要因となる。
		乗用車販売店（役員）	・販売台数は前年より上回っていても、利益率が低下してい る。
		住関連専門店（経営 者）	・衆議院選挙の結果から今までどおりの景気対策が続くので はないかと思う。また、株価が上昇する一方で低金利が続く ので、住宅の建築需要が増えると思う。
		その他専門店〔酒〕 （経営者）	・私たちの業界では、12月に向かって、少しずつ良くなって いく。
		タクシー運転手	・現状では地元のタクシー利用率は以前に比べると15～20% 下落していると思うが、今後は年末や年明けには忘年会や新 年の行事等があるので、人の移動は良くなるだろう。
		通信会社（営業担当）	・新型スマートフォンの登場で冬商戦が活発化すると期待し たい。
		通信会社（技術）	・年末年始に販売数量が増加することが見込まれているた め。
		通信会社（営業部長）	・新商品が発売され、冬の商戦期となるため。
		競輪競馬（マネー ジャー）	・年末年始にかけてのイベント強化やナイターの開催数が増 加することから客数が増加し、増収増益が見込める。
		美容室（経営者）	・12月は書き入れ時なので、売上は伸びる。
		美容室（経営者）	・年末に客数が増える見込み。
		商店街（代表者）	・年末に向けて効果的な経済政策も打ち出されておらず、顧 客の消費傾向は横ばい状態になる。
		一般小売店〔文具店〕 （経営者）	・状況が変化するような要因がない。
		一般小売店〔酒〕（販 売担当）	・消費者の購買意欲がなく、財布のひもは固いままである。
		百貨店（販売促進）	・株価の上昇やインバウンド需要のプラス要因はあるもの の、心理的な安心感が向上せず、購買行動につながらない。
		スーパー（企画担当）	・競合店の新規開店が続き、競争が激しくなり売上の伸びに はつながらない厳しい状況が続く。
		コンビニ（商品担当）	・外部環境や客の動きを見ても、良くなる要素が見つからな い。
		コンビニ（総務）	・景気が良くなる要因が見当たらず、業績維持のため企業努 力が重要と考える。
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦前だが、下見客も少なく、今後も増える気配 が感じられない。
		乗用車販売店（従業 員）	・自動車販売だけでなく、車検や自動車関連商品も落ち込ん でいる。
		乗用車販売店（営業担 当）	・自動車メーカーの不正検査問題が発覚し、受注への悪影響 が懸念される。
		旅行代理店（営業部 長）	・海外情勢が不安定なため、客も自粛ムードとなっている。 国内旅行商品でリカバーしたい。
	設計事務所（所長）	・街の中心部では空き地に建物が建つようになってきたが、 郊外では住宅もあまり売れなくなってきている。	
	一般小売店〔生花〕 （経営者）	・秋期の落ち込みを考慮すると、年末年始に期待できない。 クリスマス時期が休日に当たるのも痛手となる。	
	コンビニ（店長）	・現状どおり売上、客数共に減少傾向が続くと判断する。	
	乗用車販売店（従業 員）	・今後も新車の受注状況は厳しい。	

	x	タクシー運転手	・12月は忘年会シーズンで人は動くが、1月は止まってしま うので、悪くなる。
企業 動向 関連 (四国)		食料品製造業（商品統 括）	・衆議院選挙の結果、政治の安定や景気回復への一貫した取 組が継続される可能性が高くなったため。
		パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者）	・11～12月は一番売れる時期なので、売上は増加する。
		鉄鋼業（総務部長）	・産業用機械関連で案件が増加傾向にある。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・バイオマス発電を行う新規事業の認可が取れたので、受注 ができる見通し。
		金融業（副支店長）	・中小企業の足元業績や受注動向は引き続き堅調に推移する と予想する。業種により違いは見られるものの、運転資金の 需要も安定している。
		食料品製造業（経営 者）	・為替の影響で海外からの原材料費や製品の仕入価格が上昇 し、利益が圧迫される懸念がある。
		繊維工業（経営者）	・消費が上向き強力な要因が少ない。上場企業の業績回復等 の好況感が消費につながることを期待する。
		木材木製品製造業（資 材購買）	・人手不足や東南アジアの原料産出国における不安要素はあ るものの、当面は我慢できる。
		輸送業（営業）	・年末繁忙期における車輛不足を要因とした物流の滞りは必 至であり、運賃値上げを行ってきた当社を避け、運賃据置き の競合他社に流れた顧客をどれくらい取り戻せるかにかかっ ている。
		輸送業（支店長）	・景気について変動は少ないが、当社は原油価格の高騰によ る燃料費のコストアップが大きな障害となる。
		広告代理店（経営者）	・県外大手の得意先からは新規出店に伴う販促広告の受注増 加を見込むが、地元の得意先は前向きの情報が少なく、全体 としてはあまり変わらない見込み。
		公認会計士	・地元の国体関連やインバウンド需要により売上が伸びてい るようであるが、まだまだ設備投資に積極的な方は少なく、 しばらくは景気は変わらない。
		農林水産業（職員）	・日銀のマイナス金利政策は金融事業を圧迫している。農協 でも信用事業収入の落ち込みが大きく、厳しい経営を強いら れている。農家は台風被害による収入の減少は避けられな い。このようななか、現状の政策が継続されるだけでは景気 の悪化が懸念される。
		建設業（経営者）	・現在の手持ち工事だけとなると、売上が伸びず景気は悪く なるのではないかと懸念する。
		通信業（営業担当）	・ナショナル企業のテレビスポットCMが地方まで伸びてこ ない。また、地方企業も積極的に広告出稿をする兆しが見え ない。
	x	-	-
雇用 関連 (四国)		-	-
		人材派遣会社（営業担 当）	・売手優勢の労働市場が継続すると見込まれるため。
		求人情報誌（営業）	・消費税増税を控えた駆け込み需要が始まると見込んでいる 流通業等の企業が一定数あり、短期的には景気は良くなると 予想される。
		学校〔大学〕（就職担 当）	・諸々の不確定要素はあるものの、株高や各種経済指標な ど、好転の兆しを見せているように感じられるため。
		人材派遣会社（営業）	・年末に向けて消費意欲が向上し景気は上向きと思うが、正 社員だけでは繁忙期に対応しきれず、期間雇用スタッフを募 集する状況。全体的な景気の良し悪しは2極化すると考え る。
		職業安定所（職員）	・9月の有効求人倍率は1.46倍で、前年7月以降、1.3倍以 上が続いており、大きな変動がない。
		職業安定所（職員）	・雇用条件を向上させるだけの将来への展望が見えない。
		民間職業紹介機関（所 長）	・企業の手不足は相変わらず続いているが、これだけ人が 集まらないのであれば、あきらめに似た採用感がある。
		求人情報誌制作会社 （従業員）	・年末が近づくにつれ正社員の募集は大きく減少することが 予想されるため。
		x	人材派遣会社（営業担 当）